

ひな祭りのお話

令和7年3月3日

ひな祭りは雛人形を飾って子どもたちの成長と幸せを願う日です。雛人形には「病気をしませんように」「幸せになりますように」という願いが込められています。

そして、ひな祭りに食べるものにはどんなものがあるかな。
ひなあられ、ひしもち、ちらしずし、白酒がありますね。

菱餅（ひしもち）	白は雪、緑は雪の下の草木、桃色は雪の上に咲く花を表しています。自然の力をもらって元気いっぱいになることを願って食べます。
白酒	健康で長く生きられるようにと薬の意味があります。
ひなあられ	色は4色で四季（春夏秋冬） <ul style="list-style-type: none">・春=緑・夏=ピンク・秋=黄色・冬=白を表していると言われ、一年中幸せであるようにという願いが込められています。
ちらし寿司	ちらし寿司には、 <ul style="list-style-type: none">・えび（長生き）・れんこん（見通しがきく）・豆（健康でまめに働ける） 縁起のよい具材が多く入っています。そのため祝いの席にふさわしいと好んで食べられてきました。

幼稚園の雛人形は何段あると思いますか。そう7段ですね。
今からこれを順番に並べてほしいと思います。すみれ組さんにやってもらおう
と思います。

◆七段のひな飾りに飾られるものは？◆

最上段	お内裏様とお雛様	男雛と女雛のほか、金屏風や桃花酒、ぼんぼりを飾ります
2 段目	三人官女 (さんにんかんじょ)	三人官女は身のまわりのお世話をする女性です
3 段目	五人囃子 (ごにんばやし)	能の演奏をする奏者です。向かって→から謡(うたいて)、笛、小鼓、大鼓、太鼓と並びます
4 段目	隨身 (ずいじん)	内裏雛を守る護衛です。向かって右が左大臣(老人)、左が右大臣(若者)です
5 段目	三丁 (しちょう)	さまざまな雑用などの世話をする男性。向かって右からほうき、ちりとり、熊手を持っています
6~7 段目	雛道具 (ひなどうぐ)	6 段目にはたんすや鏡台などの嫁入り道具、7 段目には桜や橘、籠や重箱、御所車などを飾ります